

沖縄県（平成24年度）

この記念貨幣は、「沖縄復帰40周年」をテーマに、発行されたものです。記念貨幣の表面は、沖縄県最大の木造建築である首里城正殿と沖縄県の伝統芸能である組踊をデザインしています。

※首里城

琉球王国（1429～1879年）の王宮。首里城跡は平成12年（2000年）12月、「琉球王国のグスク及び関連遺跡群」として世界遺産に登録された9ヶ所のうちのひとつ。首里城の中にある「首里城正殿」は創建が14世紀末とされているが、現在の建物は沖縄復帰20周年記念事業の一つとして平成4年（1992年）に復元されたもの。

※組踊

台詞、音楽（歌曲）、所作、舞踊によって構成される沖縄の伝統芸能。琉球王府の踊奉行・玉城朝薫（たまぐすくちょうくん）によって創作、1719年に初演された。昭和47年（1972年）5月に国の重要無形文化財に指定、平成22年（2010年）11月にユネスコ無形文化遺産リストに登録されている。

神奈川県（平成24年度）

この記念貨幣は、「武家の古都・鎌倉」をテーマに、発行されたものです。記念貨幣の表面は、「武家の古都・鎌倉」を代表する神社である鶴岡八幡宮と流鏝馬をデザインしています。

※鶴岡八幡宮

鎌倉幕府を樹立した源頼朝が鎌倉入りした1180年に現在の地に造営したもので、幕府を守護するものとして位置付けられた神社。江戸時代に建築された上宮の本殿、幣殿等が平成8年に国の重要文化財に指定された。

※流鏝馬

疾走する馬上からの矢を射る伝統的な騎射の技術・稽古・儀式。鶴岡八幡宮では、放生会（＝殺生を戒める儀式に端を発し、後に収穫祭・感謝祭の意味合いを込めた行事）等に伴う神事として奉納されている。

宮崎県（平成24年度）

この記念貨幣は、「宮崎県庁本館の景観重要建造物指定」をテーマに、発行されたものです。記念貨幣の表面は、宮崎県を代表する建造物である宮崎県庁本館と高千穂の夜神楽（手力雄の舞）をデザインしています。

※宮崎県庁本館

昭和7年（1932年）に建設された、現存する都道府県庁本館の中では4番目に古い庁舎。全5階（地上3階、地下1階と屋上塔屋）の建物は、壁面に装飾柱を施し、その上端を尖らせる近世ゴシック様式。前庭には県の木であるフェニックスをはじめ、ソテツ、リュウゼツランなどが植栽され、1年中緑に覆われている。

※高千穂の夜神楽

天孫降臨神話で知られる高千穂町一帯に伝わる夜神楽。毎年、11月から翌年2月にかけて町内の約20地区において行われ、33番の番付（演目）を夜を徹して舞う。昭和53年（1978年）、国の重要無形民俗文化財に指定されている。